

高知県黒潮博覧会「南国みどり館」

「南国みどり館」起工

水耕栽培、田村遺跡を再現

’84高知黒潮博覧会

、84高知・黒潮博覧会(三月二十日、五月十三日)——本市が建設する「南国みどり館」の起工式が一月二十三日、高知市布師田の現地で行われました。

オープンまであと二カ月に迫った会場では、すでに各バビリオンやブレイランドの建設が始まっており、本市の南国みどり館は三月十五日ごろの完成を目指して、今後急ピッチで工事が行われます。

起工式は午前十時から吉本助役ら市側と博覧会事務局や協力会社のヤンマー農機などから関係者約三十人が出席して行われ、玉串をささげて工事の無事完成を祈願しました。

南国みどり館は面積六三〇平方メートル、工事費約六千七百万円をかけて建設されるもので、「空気膜構造」というエアハウス方式のド

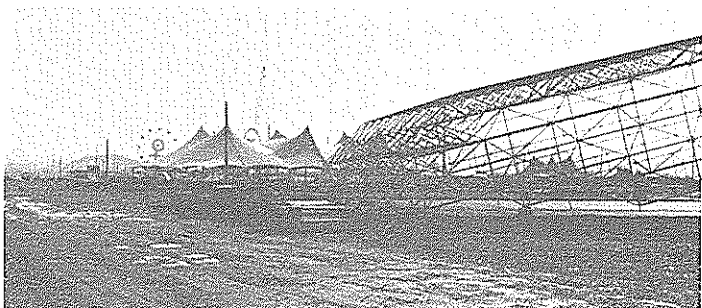


博覧会場で行われた起工式、工事の無事完成を祈った

ーム。

展示内容は、田園都市にふさわしいものとするため、古き時代の農業から現代農業までの進歩を時代を追ってたどるとともに、未来の水耕栽培を紹介し、これからの農業の展望を探っていくものです。

また、弥生時代の田村遺跡の住居を再現し、先人の築いた文化的遺産や観光面の紹介など盛りだくさんの計画となっています。



各バビリオンが姿を見せはじめた博覧会場